

富士の今と昔 ⑫

昭和2年3月、富士郡重要物産共進会における吉原町余興場付近の写真です。西から東に向かって撮ったもので、左側に余興場（眺峰館と思われる）、その向こうの洋館風の家が浪華軒です。



現在の吉原本町

昭和2年の吉原本町通り(写真提供 奈木盛雄氏)



お正月に遊んだ「雪だるま」と「たこあげ」を描いてくれた、わかば幼稚園のお友だちの作品を紹介します。



のむらりょうすけ



おばあちゃんのうちへいって、おもちをやきながらゆきだるまをつくり、たこあげをしてあそんだよ。



おともだちのゆうくんと、はらっぱでおおきなたこあげました。とってもたかくあがりました。



やまもとあさみ

吉原高校バドミントン部校

キセキの場所 ③



吉原高校バドミントン部は、県総体団体戦9連覇の偉業に象徴されるように、常に静岡県高校女子バドミントン界をリードしてきた、輝かしい伝統を持つ部です。最近やや不振の年もありましたが、60年度県総体でダブルスを制し、インターハイ出場を果たしたのを契機に、同年秋の新人戦では、団体戦、個人戦ダブルス（以下複）及びシングルス（以下単）の三冠を独占して完全復活しました。

現在のチームの中心として活躍している2年生を紹介します。部長として部の精神的柱であり新人戦の複で優勝した宮本陽子（田子浦中出身）、単、複、団体の三冠王に輝く静岡県のエース渡辺ゆみ（大渕中出身）、抜群のバドミントンセンスを持つ黒岩文月（富士南中出身）、粘り強いプレーで成長著しい鳥居明子（富士中出身）の4人です。さらに次代を担う意欲十分の1年生15人を加えた全部員が一丸となって、高校生らしいしっかりとした日常生活を送ることを心がけ、冬季でも6時30分から始める早朝練習で強い精神力を培い、春の全国選抜大会、夏のインターハイ全国大会の出場を目指して練習に励んでいます。